

日本体操学会 平成 19 年度 理事会議事録

日 時 : 平成 19 年 9 月 8 日 (土) 11:00～
場 所 : 女子栄養大学坂戸キャンパス 5 号館ゼミ室
出席者 (18 名) : 春山 (国)、春山 (文)、金子、鈴木、吉中、大島、後藤、栗野、
三宅、伊吹、遠藤、菊池、住本、瀬戸口、玉城、長谷川 (芳)、鞠子、南
欠席者 (17 名) : 長谷川 (聖)、山田、古川、本谷、石橋、今村、大塚、岡村、北川、
坂下、砂田、関野、千賀、高岡、梨木、早野、湯澤
議 長 : 金子 嘉徳
書 記 : 三宅 良輔

配布資料

- 資料 1 日本体操学会平成 18 年度事業報告
- 資料 2 日本体操学会平成 18 年度会計報告、第 6 回大会会計報告
- 資料 3 日本体操学会平成 19 年度会員動向 (含: 年度会費納入状況)
- 資料 4 第 8 回大会企画案他
- 資料 5 日本体操学会平成 19 年度事業計画 (案)
- 資料 6 日本体操学会平成 19 年度予算 (案)
- 資料 7 第 4 期役員 (案)
- 資料 8 体操とは?
- 資料 9 科学技術情報発信・流通総合システム
- 資料 10 “いいからだの日” 体操カレンダー—2007—「体操 365 日」イベント一覧

1. 春山会長より開会の挨拶があった。
2. 議長・書記・議事録署名人の選出
次の 3 名が選出された。
議長: 金子嘉徳、書記: 三宅良助、議事録署名人: 栗野まゆ子
3. 出席 18 名、委任状を含めると 26 名であり、理事会が成立することが報告された。

<報告事項>

1. 平成 18 年度事業報告および会計報告 資料 1 資料 2
 - 1) 金子理事長より資料 1 に基づき平成 18 年度事業報告があった。
 - 2) 鈴木副理事長より資料 2 に基づき平成 18 年度会計報告があった。
2. 平成 19 年度会員動向 (含: 年会費納入状況) 資料 3
9 月 4 日現在の会員動向報告があった。来年度より全面的にインターネット会員に移行するため今年は郵送会員にインターネット会員への移行を呼びかけた結果、インターネット会員の登録が増えた。しかし来年度以降も郵送会員でしか対応できない会員について、郵送会員扱いを残し対応していくことに決まった。平成 20 年度よりの新規会員についてはインターネット会員のみの受付で対応することが決まった。

退会者数 13 名、3 年間年会費未納による除名者数 16 名の計 29 名の会員減が報告された。

3. 第 8 回大会準備状況 資料 4

- 1) 第 8 回大会の組織委員長である吉中常任理事より開催要項（案）の報告があった。テーマは「セーフコミュニティと体操ネットワーク」。会期は平成 20 年 9 月 6 日（土）～7 日（日）。7 日と 8 日は温泉や観光などのオプションも用意する予定。
- 2) 基調講演として久保田鏡先生（京都大学名誉教授）に依頼することにきまった。
- 3) 実技プログラムの良案がまだないために、今学会大会中に皆さんからご意見やアイデアを頂きたいと要請があった。例：G ボール世界大会開催など。

4. 各委員会からの報告

- 1) 財務委員会 鈴木委員長
会計報告（予算案・決算案）などのフォーマットを平成 18 年度で作成した。
- 2) 将来構想委員会 金子理事長
平成 18 年度は進展なしであった。スカイプを利用した会議等の試みを行った。
- 3) ジャーナル委員会 春山会長
平成 18 年度は 4 編の論文投稿があった。これかもジャーナルの充実を図って行きたい。
- 4) 国際・国内交流委員会 春山（文）副会長
 - (1) 国際関係は現在検討中である。
 - (2) 国内関係は国内ブロック担当者と募り、学会組織の充実を図りたい。そこから国際関係の作業へと発展させて行きたい。
 - (3) 吉中常任理事よりいいからだの日プロジェクトの報告があり、WEB の体操カレンダーへの報告が少なくなっているため、これからは担当者が情報を集めてこちらから発信していく必要がある。
- 5) 広報委員会
平成 18 年度活動として以下が報告された。①平成 18 年度入会案内作成、②平成 19 年度入会案内の検討（法人会員を含む）、③第 6 回大会アンケート作成・集計・報告、④第 6 回大会会報の作成、⑤学会大会などの広報先の検討、⑥学会ホームページのチェックモニターを 5 名募集。その他平成 19 年度の活動計画を立案中。
- 6) 普及委員会
18 年度は活動なし。しかし今大会でキッズプロジェクトが立ち上がったので、これを 19 年度に発信して行きたい。

5. その他

金子理事長より 2 点報告があった。①第 7 回大会の大会号は体操コードを使用して作成した。②学術研究団体へ学術協力団体の申請を出し、現在審査中である。

<審議事項>

1. 平成 19 年度事業計画および予算案について 資料 5 資料 6
 - 1) 資料 5 に基づき平成 19 年度事業報告が金子理事長より提案され承認された。
 - 2) 資料 6 に基づき平成 19 年度予算案が鈴木副理事長より提案され承認され、承認された。

2. 第 4 期役員について 資料 7
資料 7 に基づき金子理事長より提案があり承認された。基本的に第 3 期の理事をそのまま継続していく方向で事前に連絡を取ったが福島監事が辞退の申し出があった。また今村理事が長期海外出張のため帰国時に意見を伺うことと報告された。新たに中京大学の川端昭夫先生、日本体育大学の荒木達雄先生、坂戸市役所の國枝寛先生の 3 名の推薦がありそれぞれより承諾を得ている。
住本 一氏の所属が N P O 法人おもちゃライブラリー、三宅 良輔先生の所属が日本体育大学に訂正された。

3. 体操の定義に関する検討プロジェクトについて 資料 8
春山会長より資料 8 の通り「体操の定義検討プロジェクト」の立ち上げ提案があり承認された。今大会ではすっきりした定義にはならないと予想している。今後 5 名か 7 名にてプロジェクトメンバーを募り、簡単にさっと言えるものか、2~3 行付け加えてこうだといえるよう早急に決めたい。

4. オンラインジャーナルの現状と課題 資料 9
 - 1) 今年度は 3 件のジャーナルエントリーがあり、これを掲載できた。
 - 2) オンラインジャーナルを取り扱う科学技術情報発信・流通総合システム(J・STAGE)の HP に体操学会としてエントリーしたい(無料)との提案があり、承認された。

5. 2007 年度いいからだの日および体操 365 日 資料 1 0
資料 1 0 を作成したので、総会で訂正箇所を直して配布することになった。
以前の体操カレンダーに戻してホームページに掲載し、W e b 上の書き込みも同時進行させていく。来年体操についてのモデル事業集のような C D を作成する予定である。

<その他>

第 7 回大会の金子大会組織委員長より第 7 回大会のプログラムの説明があった会報の役割分担について、後藤副会長より以下の通り発表された。

基調講演・・・後藤	公開プログラム・・・南
教育フォーラム・・・吉中	公開プログラム・・・砂田
ギムナストラダ報告・・・長谷川	ランチョンセミナー・・・山田
懇親会・・・三宅	一般発表・・・栗野
ポスター発表・・・春山文	一般発表・・・鞠子
体操の定義について・・・金子	キッズプロジェクト・・・大島

理事長 金子 嘉徳

議事録署名人 栗野 まゆ子